

平成 2 4 年度

川崎市予算案のポイント

平成 2 4 年 2 月

目 次

	ページ
課題克服努力予算	1
予算案の概要	
Ⅰ 各会計予算規模	2
Ⅱ 一般会計歳入	2
Ⅲ 一般会計歳出 (性質別)	3
予算案のポイント	4
一般会計のプライマリーバランス及び市債残高の推移	10
中長期的なまちづくりの方向性 「4つの『～化』」	11
経済・雇用対策への対応	12
重点的・戦略的に取り組む施策の展開	
人間都市かわさき	13
安心快適都市かわさき	15
元気都市かわさき	17
安定持続都市かわさき	19
オンリーワン都市かわさき	20

川崎市 平成24年度一般会計予算案のポイント

～ 課題克服努力予算 ～

- ◎ 平成24年度の予算編成は、「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画と「新たな行財政改革プラン(第4次改革プラン)」の2年目の予算として、社会経済状況が依然として厳しく、かつ、変動する中であっても、市民生活の安全安心を確保するとともに、川崎の将来を見据えた取組課題についても的確かつ戦略的対応するため、都市経営の視点に立ったうえで、情勢の変化に対応しながら、計画事業を一層推進することにより、143万市民がいきいきと心豊かに暮らせるよう、次の点を基本に編成を行いました。
 - ①災害に強いまちづくりなど安全安心の確保、本市の特徴や強みを活かした取組の推進
 - ②自治基本条例に基づき市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進
 - ③行財政改革の取組を確実に反映
- ◎ 平成24年度予算は、大変厳しい社会経済環境の中、市民生活の安全安心の確保とともに、川崎の新たな飛躍を確実なものとするよう、本市の取り巻く様々な課題の克服に向け最大限努力する予算であるという意味を込めて、「課題克服努力予算」としました。

川崎市 平成24年度予算案の概要

I 各会計予算規模

※「予算案について」P1

会 計 名	平成24年度予算	平成23年度予算	増減率
一 般 会 計	5,956億3,226万円	6,180億2,238万円	△ 3.6%
特別会計(13会計)	4,392億7,245万円	4,848億7,514万円	△ 9.4%
企業会計(6会計)	1,997億7,028万円	2,214億6,648万円	△ 9.8%
合 計	1兆2,346億7,500万円	1兆3,243億6,402万円	△ 6.8%

※万円未満切り捨て。合計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

II 一般会計 歳入

※「予算案について」P2

(単位:百万円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
市 税	279,443	46.9	279,584	45.2	△ 141	△ 0.1
地 方 譲 与 税	3,616	0.6	3,075	0.5	541	17.6
交 付 金	19,169	3.2	17,084	2.7	2,085	12.2
地 方 特 例 交 付 金	1,220	0.2	3,386	0.5	△ 2,166	△ 64.0
地 方 交 付 税	1,537	0.3	514	0.1	1,023	199.0
国 庫 支 出 金	100,501	16.9	109,518	17.7	△ 9,017	△ 8.2
県 支 出 金	20,632	3.5	18,933	3.1	1,699	9.0
財 産 収 入	2,908	0.5	4,631	0.8	△ 1,723	△ 37.2
繰 入 金	23,904	4.0	32,362	5.2	△ 8,458	△ 26.1
市 債	71,380	12.0	76,584	12.4	△ 5,204	△ 6.8
そ の 他	71,322	11.9	72,351	11.8	△ 1,029	△ 1.4
合 計	595,632	100.0	618,022	100.0	△ 22,390	△ 3.6

III 一般会計 歳出(性質別)

※「予算案について」P3

(単位:百万円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
義 務 的 経 費	309,245	51.9	319,516	51.7	△ 10,271	△ 3.2
人 件 費	97,027	16.3	101,311	16.4	△ 4,284	△ 4.2
扶 助 費	140,821	23.6	141,588	22.9	△ 767	△ 0.5
公 債 費	71,397	12.0	76,617	12.4	△ 5,220	△ 6.8
投 資 的 経 費	90,709	15.2	98,684	16.0	△ 7,975	△ 8.1
補 助	51,919	8.7	53,429	8.7	△ 1,510	△ 2.8
単 独	38,790	6.5	45,255	7.3	△ 6,465	△ 14.3
そ の 他	195,678	32.9	199,822	32.3	△ 4,144	△ 2.1
合 計	595,632	100.0	618,022	100.0	△ 22,390	△ 3.6

※1 生活保護扶助費(570億円→595億円 被保護世帯22,985世帯→24,250世帯)

※2 民間保育所運営費等(137億円→162億円 保育受入枠18,478人→20,502人)

※3 子ども手当等の制度変更(△78億円*職員分を除く)があったため上記にもかかわらず扶助費が減少

※4 投資的経費の主な減はごみ焼却処理施設の完成による仮称リサイクルパークあさお整備事業の減(△42億円)によるもの

予算案のポイント

平成24年度予算の考え方に基づき編成された予算の主なポイントとして次の5つを紹介します。

	ページ
I 市税収入は前年度同程度を確保したものの依然として厳しい状況	5
II 減債基金からは財政フレームどおり95億円の新規借入れを計上	6
III 様々な課題を克服し、川崎の新たな飛躍を確かなものに	7
IV 行財政改革の取組	8
V 財政健全化に向けた取組	9

ポイントⅠ 市税収入は前年度同程度を確保したものの依然として厳しい状況

※「予算案について」P6

- 厳しい社会経済状況の中、ほぼ前年度と同額（前年比△0.1%）を確保
 厳しい社会経済状況に加え、固定資産の評価替えがありながらも、前年度と同程度となりましたが、平成21年度以前の水準には戻っていません。

※制度変更等による影響額 ⇒ 固定資産評価替えによる減収額 62億円 年少扶養控除の廃止等による増収額 31億円

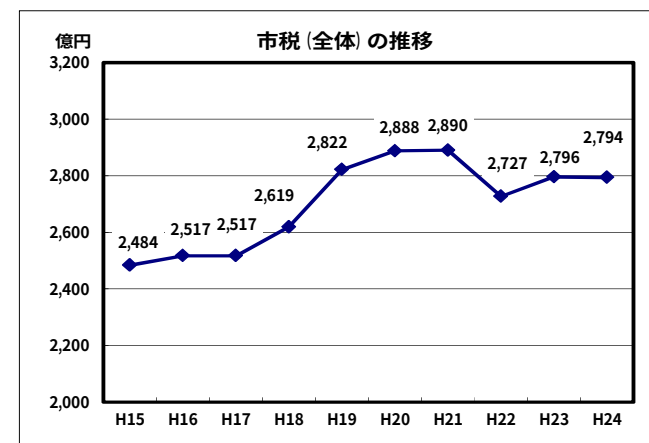
（単位：百万円）

	H23	H24	増	減
市税	279,584	279,443	-141	-0.1%
市民税	126,040	128,865	2,825	2.2%
個人	108,914	111,140	2,226	2.0%
法人	17,126	17,725	599	3.5%
固定資産税	113,746	110,231	-3,515	-3.1%

【参考】 地方財政計画の対前年度伸び率（単位：億円）

	H23	H24	増	減
市町村税	199,085	198,509	-576	-0.3%
道府県税	134,952	138,635	3,683	2.7%

※東日本大震災による減免等分を除く



ポイントⅡ 減債基金からは財政フレームどおり95億円の新規借入を計上

※「予算案について」P7

○ 減債基金からの95億円の新規借入れ

行財政改革の取組を進めるものの、依然として厳しい状況の中、収支不足が見込まれましたが、社会経済環境の変化にしっかりと対応し、市民生活の安定のため必要な市民サービスを確実に提供していくため、財政フレームどおり前年度より圧縮し、95億円の減債基金からの新規借入を計上したものです。

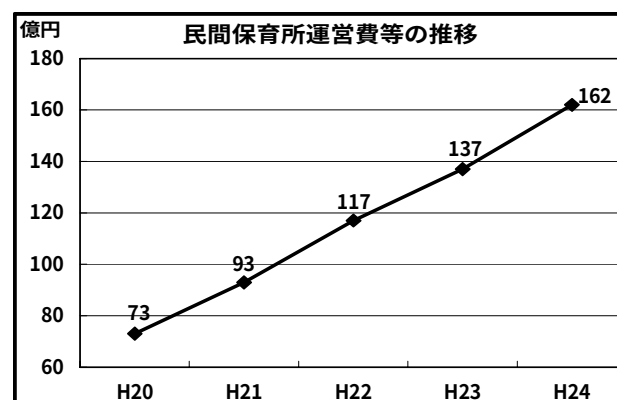
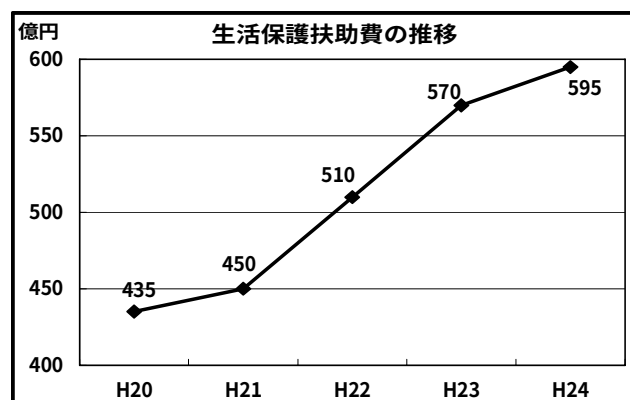
※ [減債基金残高見込] 平成24年度末 1,610億円

【参考】減債基金借入金予算計上の推移

(単位: 億円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
予算額	79	33	98	150	150	100	0	150	108	95

【参考】生活保護扶助費等の推移(当初予算ベース)



※左は民間保育所運営費等の扶助費のみですが、保育所整備費等を含む「多様な保育の充実」にかかる予算額は258億円で、対前年度26億円の増となっています。

ポイントⅢ 様々な課題を克服し、川崎の新たな飛躍を確かなものに

＜災害に強いまちづくりの推進＞

- 児童生徒用備蓄物資整備 (児童生徒の一時保護に必要な食料等の整備 12)
- 民間建築物の耐震化の推進 (木造住宅や福祉施設等の耐震改修への助成 445)
- 臨海部の災害対策の推進 (コンビナート災害や津波被害の軽減に向けた取組の推進 115)
- 自主防災組織等の活性化 (自主防災組織の資器材購入等への助成拡充 42)
- 災害時の要援護者等への支援 (高齢者・障害者施設等への無線機の設置 38)

＜国際戦略拠点の形成＞

- 「KING SKYFRONT」(殿町3丁目地区) (国際戦略拠点形成に向けた取組の推進 786 *周辺事業費含む)
 仮称産学公民連携研究センター 24年12月完成予定
- 新川崎・創造のもり地区 (新産業創出拠点の形成に向けた取組の推進 809)
 かわさき新産業創造センター新館(産学協同研究施設 クリーンルーム棟) 24年8月完成予定

＜かわさき再生から「新たな飛躍」へ＞

- 安心して子育て・地域生活を送るための環境づくり
 多様な保育の充実 ほか (受入枠拡大(+2,024人)、認可外保育施設の保育環境充実等 25,750)
- カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき) 2012
 スマートシティ戦略 ほか (エネルギー利用最適化などスマートシティ構築に向けた取組推進 39)
- 大規模公園緑地の魅力向上と広域的なまちづくりの推進
 等々力緑地・周辺地区整備の推進 ほか (等々力陸上競技場の第1期(メインスタンド)の整備推進 2,479)

※ () 内は主な事業内容等、予算額(単位;百万円)

ポイントⅣ 行財政改革の取組

※「予算案について」P5～6

○改革の効果

- ・歳入の確保（債権確保策の強化など）
約 16億円
- ・歳出の見直し（職員数の削減、事業の見直しなど）
約 34億円

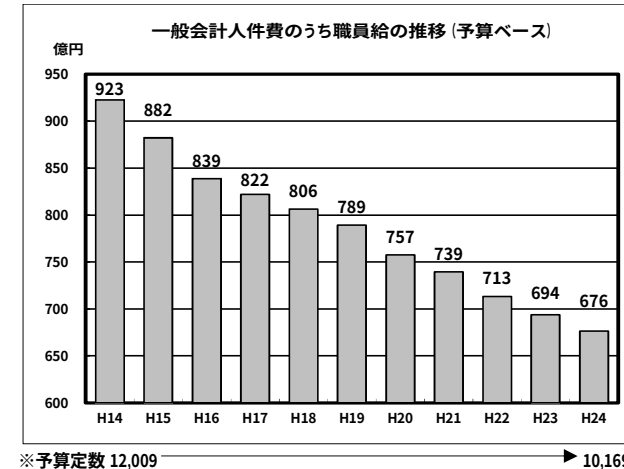
↓
改革の効果額 50億円

○改革効果の市民サービスへの還元

- ・これまでの還元施策を継続して実施
私立幼稚園園児保育料補助
学校トイレの快適化
安全施設の管理水準の向上 など

↓
H18からの取組によるH24予算計上額 19億円
(一般会計のみ)

【参考】職員給の推移



★24年度は小児医療費助成の拡充を実施★

《小児医療費助成 通院分の対象年齢》
18年度 5歳→小学校就学前
24年度 小学校就学前→小学校1年生

小児医療費助成につきましては、改革効果の還元施策として、平成18年度に通院にかかる対象年齢を5歳から小学校就学前までに引き上げました。

今回、厳しい財政状況ではありますが、還元施策として対象年齢を小学校1年生まで引き上げます。

ポイントⅤ 財政健全化に向けた取組

※「予算案について」P7

将来にわたって安定的に市民サービスの提供を行うため、持続可能な財政構造の構築に向け、「新たな行財政改革プラン（第4次改革プラン）」に掲げる財政的な目標である「平成26年度の収支均衡」を達成するよう、改革の取組を継続し、財政フレームを指針として計画的な行財政運営を行います。

財 政 フ レーム

一般財源ベース
単位：億円

健全な財政構造の構築に向けた取組目標

目標 ① 平成26年度には減債基金からの新規借入れを行うことなく収支均衡を図る
目標 ② 継続的な収支均衡と安定的なプライマリーバランスの黒字の確保を図る
目標 ③ 資産マネジメント（資産保有量の最適化・施設の長寿命化等）の推進や市債の適正な活用により将来負担の適切な管理を行う

歳入フレーム（減債基金新規借入金を除く）

	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
市税	2,796	2,809	2,832	2,857	2,868
地方譲与税	31	30	30	29	29
利子割交付金～軽油引取税交付金	171	170	165	172	179
地方交付税	5	5	5	5	5
市債	185	185	185	185	185
減債基金借入金（過年度分）	150	258	353	413	413
その他	156	123	142	142	117
歳入計 A	3,494	3,580	3,712	3,803	3,796

※平成24年度以降の市税等は、市民税においては個人・法人の別に人口動態や企業収益、物価上昇等の影響を見込むなど、各税目ごとに近年の動向を参考に算定

歳出フレーム

	第3期実行計画期間内の計画事業費				
	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
人件費	895	872	857	835	828
扶助費	443	484	511	520	530
公債費	722	684	716	714	728
投資的経費	175	175	166	175	175
減債基金借入金返還金	150	258	353	413	413
その他	1,217	1,237	1,228	1,203	1,179
歳出計 B	3,602	3,710	3,831	3,860	3,853

※人件費は、給与改定による影響を見込まずに算定
※人件費のうち退職手当は、退職予定者数を勘案して算定
※投資的経費のうち平成26年度以降は、過去の推移を基本に算定

減債基金からの新規借入れ C	108	95	60	0	0
施策調整・事務事業の見直し等による要調整額 D=A-B+C	-	-35	-59	-57	-57

減債基金の状況見込み

	H23	H24	H25	H26	H27
減債基金年度末残高見込み E	1,187	1,377	1,519	1,685	1,877
うち一般会計借入見込額累計 F	258	353	413	413	413
G=E-F	929	1,024	1,106	1,272	1,464

行財政改革による対応額等の内訳

財源対策による対応

	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
退職手当債の活用	27	27	27	27	27
行政改革等推進債の活用	90	90	90	90	90
国保会計繰出金の未計上	47	47	47	47	47
財源対策計 H	164	164	164	164	164

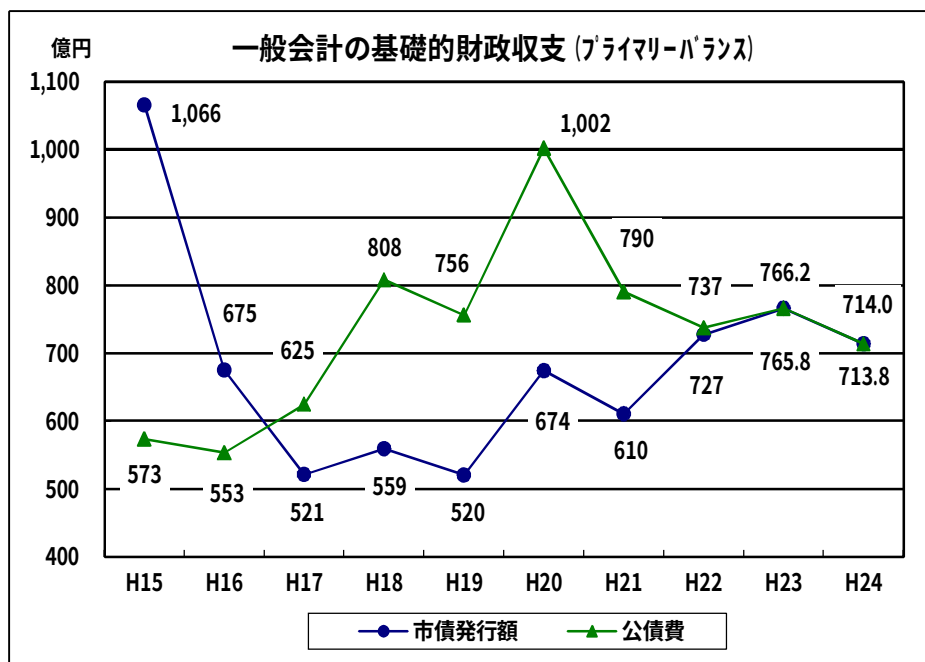
行財政改革による対応

	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
人件費の見直し	16	32	48	64
扶助費の見直し	4	6	7	8
投資的経費の見直し	10	10	10	10
その他経費の見直し	15	30	45	60
PRE戦略及び債権確保策の強化等による歳入の確保	15	20	20	20
行財政改革の目標額計 I	60	98	130	162

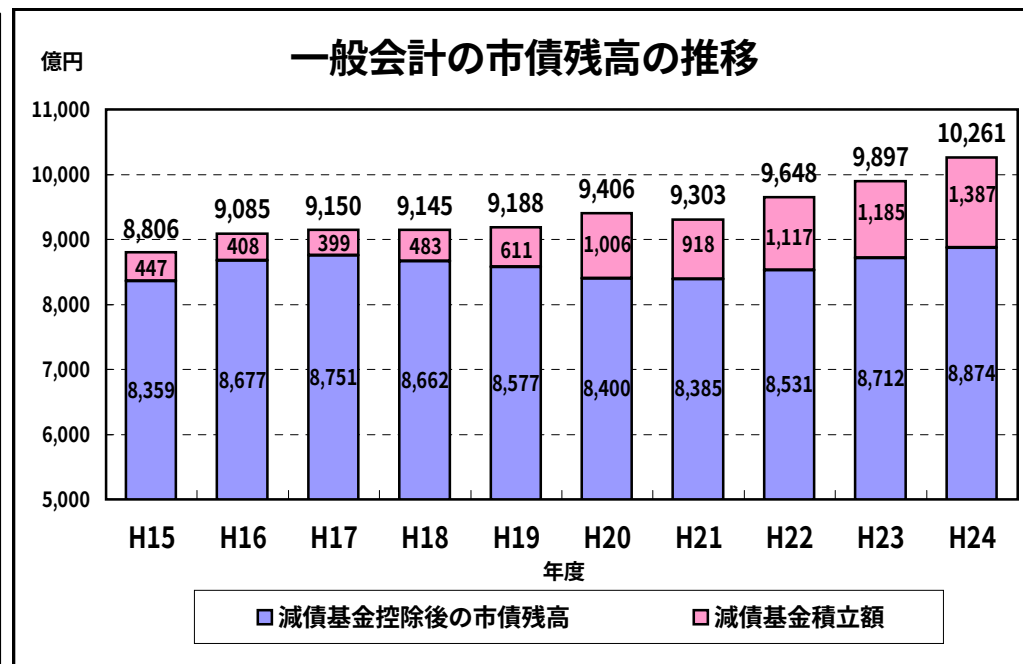
対策前の収支不足額 D-H-I	-259	-321	-351	-383
-----------------	------	------	------	------

平成24年度 一般会計のプライマリーバランス及び市債残高の推移

- 平成24年度では、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字を確保。
- 平成24年度予算での一般会計の市債残高は1兆261億円。
減債基金への積立額を控除した、実質的な市債残高は8,800億円。



※平成22年度までは決算ベース、平成23年度及び24年度は予算ベース



※平成22年度までは決算ベース、平成23年度は3月補正後ベース、24年度は予算ベース

～中長期的なまちづくりの方向性～ 4つの「～化」

※「予算案について」P30

(単位:百万円)

コンパクト化

主要駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めます

誰もが便利にかつ効率的に公共サービスを楽しむことができるよう、中長期的に既成市街地における都市機能を再編整備し、主要駅周辺に効率的に集約するとともに、そのアクセス向上に向けた取組などを進める。

24年度取組 7,332
 ・武蔵小杉駅周辺の市街地再開発
 ・再開発事業への補助
 ・鉄道事業者と連携した保育所の整備

エコ化

環境技術を活かしたまちづくりを進めます

川崎の特徴を生かし、市内企業に蓄積された環境配慮型技術をまちづくりの中に取り入れ、まち全体が環境技術にあふれた国際社会のモデルとなるまち「環境技術のショーケース」を目指した取組を進める。

24年度取組 3,785
 ・スマートシティ戦略の推進
 ・仮称川崎メカニズムの構築
 ・川崎国際環境技術展の開催
 ・住宅用再生可能エネルギー設備設置補助
 ・太陽光発電・電気自動車の導入など

長寿命化

公共施設の長寿命化の取組を進めます

中長期的かつ持続的なまちづくりを進めていくため、「かわさき資産マネジメントプラン」の考え方にに基づき、財政負担の軽減と平準化を推進する観点から、定期的・計画的な予防保全型の維持補修を進める。

24年度取組 3,197
 ・適切な道路維持補修事業の推進
 ・大規模施設の予防的維持補修の実施（港湾振興会館、高津区役所、とどろきアリーナ、市役所第3庁舎、多摩区役所）など

ユニバーサル化

すべての人にやさしいまちづくりを進めます

これまで拠点駅や重点整備地区を中心に公共施設等のバリアフリー化を進めてきたが、この考え方を発展させ、高齢者や障害者をはじめ、「誰もが使いやすい」という視点でまちづくりを進める。

24年度取組 4,815
 ・福祉製品におけるかわさき基準の推進
 ・JR川崎駅北口自由通路の整備
 ・区役所のリフォーム
 ・学校へのエレベータ設置

平成24年度予算における 経済・雇用対策への対応

※「予算案について」P28

欧州の財政不安の影響による景気の低迷や円高など、本市を取巻く経済・雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。国の経済対策と整合を図り、産業界とも連携しながら、引き続き企業支援、雇用対策に取り組めます。

中小企業等の活力向上 約325億円

○中小企業融資制度の充実

- ・市内中小企業への間接融資 融資枠762億円
- ・信用保証料補助等の強化

○中小企業の経営支援等の充実

- ・コーディネート支援・出張キャラバン隊の経営支援の継続
- ・ワンデイコンサルティングの継続
- ・商業集積エリアの課題解決、商業者等による先進的な取組等の支援
- ・中小建設業者への支援
- ・ものづくり中小企業への販路開拓支援

公共事業の早期発注・

地域配慮 約491億円

○早期発注等の取組の継続

- ・公共事業の早期発注
(上半期の公共工事発注率80%を目指す)
- ・市内中小企業優先発注の配慮
- ・公的債務支払の早期化
- ・入札・契約制度の見直し など

○工事費の確保

- ・工事費総額及び市内中小企業の受注に配慮した補修工事費の確保

総額 約878億

市民生活の安全安心のための対策 約54億円

○消費生活相談窓口業務等の実施

- ・消費生活相談体制の継続
- ・消費者行政活性化基金を活用した相談窓口等の継続
- ・食の安全に関するフォーラムの開催
- ・中学生向け家庭科分野における教材の作成

○就業支援の実施

- ・総合相談窓口の拡充
無料職業紹介と緊急雇用・労働相談窓口を一体とした「総合相談窓口」における相談業務等の拡充
(川崎区・多摩区における就職相談の実施)
- ・求職活動支援事業及び若年者就業支援事業の継続

○国の経済対策等と連携した取組

- ・子育て支援・介護支援・高齢者支援・離職者支援 など

緊急雇用対策 約7億円 320名

○雇用機会の創出

- ・介護人材の育成雇用事業による雇用の創出
- ・新卒未就職者等の就業支援事業による雇用の創出
- ・放置自転車等防止対策事業(自転車整理誘導員)による雇用の創出
- ・不法投棄の巡回監視等による雇用の創出
- ・市内企業を中心とした求人開拓強化事業による雇用の創出
- ・商店街課題解決支援実施による雇用の創出
- ・観光イベントと連携した東北復興支援事業による雇用の創出

重点的・戦略的に取り組む施策の展開

人間都市かわさき

※「予算案について」P24

(単位: 百万円)

【支え合いによる地域福祉社会づくり】

○ 高齢者の多様な居住環境の整備

・特別養護老人ホームの整備	2,242
24年度開所予定 3カ所 318床 (幸区河原町地区など)	
25年度開所予定 3カ所 350床	
・介護老人保健施設	180
24年度開所予定 1カ所 150床 (中原区今井西町地区)	
25年度開所予定 1カ所 120床	
・多様な居住空間の整備	2,262
小規模特別養護老人ホームの整備	
小規模多機能型居宅介護 など	

○ 拠点的な福祉施設の計画的な再編整備

・総合リハビリテーションセンターの整備 (中原区井田)	1,602
* 中央療育センター (入所部分) の建設	
* 重度障害者等生活施設の建設	
・福祉センターの再編整備 (川崎区日進町)	465
仮称川崎区内複合福祉施設の整備	

【総合的なこども支援】

○ 保育環境の整備

- ・多様な保育の充実 **25,750**
 - 保育受入枠の拡大 18,478人→20,502人 2,024人の増 (認可外保育施設援護対象児童数を含む。)
 - 認可保育所 1,535人 認可外保育所 489人
 - * 認可保育所の整備 1,375人定員増 (平成25年度開設予定)
 - * 認可外保育施設の支援 など

○ 地域における子ども・子育て支援施策の推進

- ・次世代育成支援対策の推進 **6,703**
 - * 幼児教育の振興
 - 私立幼稚園園児保育料等補助事業
 - 預かり保育等への助成拡充
 - * 小児医療費の助成 24年9月～ 通院に係る助成対象年齢を就学前→小1迄 1歳引き上げ
- ・地域子育て支援の推進 **412**
 - * 地域子育て支援センターの拡充 49カ所→51カ所 など

○ 子どもの総合的な相談・支援機能の強化

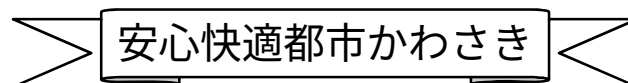
- ・高度専門的な相談支援の充実 **1,570**
 - * 地域療育センターの整備・運営など
- ・要保護児童支援施策の推進 **990**
 - * 要保護児童施設の整備、里親制度の推進
 - 中部・南部児童養護施設整備事業費補助金
 - (既存) 児童養護施設改築事業費補助金
 - * 里親制度の推進 など

○ 総合的な学校教育の推進

- ・確かな学力の育成 436
 - * 外国語指導助手 (ALT) の配置 62人→67人 など
 - * 少人数指導等推進事業 24年度から小学1年に加え2年も35人学級化
- ・特別支援教育の推進 183
 - * 医療的なケアが必要な児童生徒に対し、看護師による支援で保護者負担の軽減

○ 教育環境の整備

- ・義務教育施設の整備 14,641
 - * 新設・・・新川崎地区、小杉駅周辺地区における小学校の基本構想策定
 - * 大規模改修工事・・・東菅小学校 など
 - * 児童生徒急増対策・・・子母口小学校・東橘中学校合築整備 など
 - * 特別支援学校の整備・・・田島養護学校の再編整備 26年度供用開始
 - * 中高一貫教育校新設・・・市立川崎高校の中高一貫教育校化、二部制定時制課程を有する学校の整備
26年度供用開始



[安全・安心な地域環境の整備]

○ 危機管理・防災対策、建築物耐震化の推進

- ・総合的な耐震対策の推進 1,902
 - * 特定建築物等耐震対策事業
 - * 木造住宅耐震改修助成・診断士派遣事業
 - * マンション耐震診断・改修助成事業 など

・地域防災力の向上	405
* 防災拠点整備事業 地域防災拠点(市内の中学校51校)に備蓄倉庫を整備し、必要物資を備蓄する。	
* 災害予防対策事業 自主防災組織の訓練や啓発活動支援、帰宅困難者対策の拡充 など	
○ 安全・安心な都市基盤の整備と適切な維持管理	
・公共建築物の長寿命化の推進	353
* 資産マネジメントプランの取組として、修繕・保全計画に基づき、設計・工事等を行う。	
・橋りょうの整備と耐震対策、橋りょうの長寿命化	1,147
* 資産マネジメントプランの取組として、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全型の修繕を行うとともに、橋脚の耐震補強工事を行う。	
・上・下水道施設の地震対策	7,804
災害対策用貯水槽の設置(1基)や上下水道施設の耐震化	
○ 救急体制の強化と救急医療体制の整備	
・救命率向上のための救急隊の増隊と高度な救急体制の整備	216
* メディカルコントロール活動の推進	
高度救命処置を行える救急隊員を養成し、救命率向上を図る。	
* 救急用高度化資器材の配備 など	
○ 消防署所の整備と消防力の強化	304
・消防署所の適正配置	
* 仮称栗木出張所整備事業	
* 柿生出張所改築事業 など	

【環境配慮・循環型の地域社会づくり】

○ **カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)**

- ・再生可能エネルギー導入の推進 490
 - * 公共施設に太陽熱利用設備を設置する。
 - * 個人住宅対象の太陽光発電設備設置補助拡充、太陽熱利用設備の設置補助 など
- ・地球環境配慮の推進 3,170
 - * 仮称川崎メカニズムの構築 川崎の環境技術の国際貢献を促進する。
 - * スマートシティ戦略事業 川崎駅周辺におけるスマートコミュニティの取組を推進
 - * 全市を挙げた節電対策の推進 庁内の照明のLED化を進めるほか雨水貯留槽設置補助 など

○ **ごみ減量化と分別・リサイクルの推進**

- ・廃棄物処理施設の整備 1,009
 - * 3焼却処理施設体制の構築に向けた橘処理センター整備に係る基本計画の策定
 - * 堤根処理センターの基幹的施設整備
 - * 仮称リサイクルパークあさおの整備

【憩いとうるおいの環境づくり】

○ **魅力ある公園緑地の整備**

- ・大規模公園(富士見、等々力、生田)・周辺地区整備の推進 6,760
 - * 富士見周辺地区 長方形競技場整備着工 26年度完成
 - * 等々力緑地・周辺地区 陸上競技場第1期整備(メインスタンド)着工 27年度完成
 - * 生田緑地・周辺地区 公園用地取得、ゴルフ場クラブハウス整備工事 など

○ 緑地保全施策の推進

- ・黒川地区農業公園の整備 50
 - * セレサモスから明治大学黒川農場への道路整備、グリーンツーリズムの推進
- ・農ある風景の保全 6
 - * 農ある風景の保全と多摩・三浦丘陵広域連携の実施

【都市拠点・ネットワークの整備と川崎臨海部の再生】

○ 臨海部の国際戦略拠点の形成と戦略的な土地利用の促進

- ・国際戦略拠点形成の推進 60
 - * 国際戦略総合特区計画に基づく取組の推進
科学雑誌等を活用したプロモーション、医療技術のシーズとニーズのマッチング 事業など
- ・国際戦略拠点地区中核施設等の整備 42
 - * 拠点形成を先導する中核的な施設の整備推進 仮称産学公民連携研究センター開設 など
- ・国際戦略拠点地区の交通アクセスの改善 110
 - * サポートエリア整備推進事業
産業道路駅前バスバース進入出路安全対策工事 など
- ・港湾物流機能の強化 1,811
 - * 臨港道路東扇島水江町線の整備 28年度完成予定
 - * 京浜港広域連携の推進 川崎港の貨物集荷、新規利用や継続的な利用の促進
 - * 港湾計画の改訂 など

○ 都市拠点の整備

- ・川崎駅周辺地区 北口自由通路の施設設計・用地取得 など 1,081
- ・新川崎・鹿島田駅周辺地区 2,013
 - * 鹿島田駅西地区再開発事業、鹿島田跨線歩道橋の整備
- ・小杉駅周辺地区 再開発事業の推進 など 8,267
- ・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 3,160
 - * 登戸地区土地区画整理事業
 - * 向ヶ丘遊園駅連絡通路等整備事業

【川崎の活力を生み出す産業イノベーション】

○ 国際的視点に基づく産業振興

・経済の国際化への対応

49

* 国際ビジネス交流支援施設の整備及び運営

* オーストラリア クイーンズランドにおけるビジネスマッチング支援 など

○ 環境・福祉・健康・医療分野における産業の振興

・ナノ・マイクロテクノロジーを核とした先端研究開発の推進

883

* かわさき新産業創造センタークリーンルーム棟の整備 24年度完成 など

安定持続都市かわさき

【経済・雇用対策】 総額 約878億円

○ 中小企業等の活力向上策

・中小企業融資制度の充実

32,484

* 経営安定資金融資 762億円の融資枠を確保

* 信用保証料補助等の強化

○ 公共事業の早期発注及び地域配慮

・工事費の確保

49,134

* 工事費総額及び市内中小企業の受注に配慮した補修工事費の確保

・早期発注等の取組の継続

○ 市民生活の安全安心のための対策

・地方消費者行政活性化事業

34

・就業支援の充実

37

* 総合相談窓口の拡充、若年者就業支援事業の継続

＊ 緊急雇用対策

・雇用機会の創出	雇用創出 約320人	731
----------	------------	-----

オンリーワン都市かわさき

[川崎の魅力を育て発信する取組]

○ シティーセールスの推進と観光振興

・アートのみちづくり事業	15
＊ 地域主体の芸術祭「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)」の開催支援 4/27～5/6	
・東海道を活用したまちづくりの推進	470
＊ 仮称東海道まちづくり文化・交流拠点施設の整備と展示制作	

○ 音楽のみち・かわさきの推進

・ミューザ川崎シンフォニーホールの運営	2,244
＊ 25年4月のリニューアルオープンに向けた整備など	

[市民自治と区役所機能の拡充]

○ 区役所機能の強化

・区民会議の運営 24年度～第四期開始	38
・区役所、支所・出張所等の窓口サービス機能再編の推進	310
＊ 機能再編推進事業 宮前連絡所の機能転換、柿生連絡所の機能再編についての検討 など	
＊ 区役所快適化リフォーム事業 区役所や支所をよりわかりやすく快適に利用できるよう、内部改修やエレベーターの設置を行う。	
・地域課題対応事業	550
各区が主体となり、区民の参加と協働により地域の課題を解決する。	
・区役所等庁舎の計画的・効率的な整備	350
＊ 幸区役所庁舎整備 26年度供用開始	